ウォータージェットで誤って手を裂傷する

切れこすれー1

災害発生時記録						
発生月日　時	12月2日（金）11時55分		工事内容	橋梁補修工事（地覆工、高欄工、橋面防水工、橋面舗装工、伸縮装置工、他一式）		
被災者	職種	普通作業員	経験年	1	所属	二次下請け
被災程度	右手背挫創、伸筋腱断裂					

災害発生状況（写真）

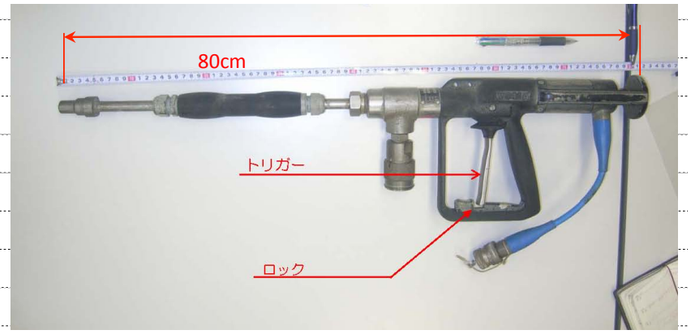
当日は既設伸縮装置の防護コンクリートをウォータージェットではつる作業を行っていた。被災者は囲い内で単独でハンドガンを使用し、はつり作業を行っていたが溜まってきたハツリガラの除去をガンを抱えた状態で行っていた時、何らかの拍子で安全装置が解除され突然高圧水が噴射し右手にあたり被災した。

実際の作業状況

被災時の状態

初期の対策状況含む事項(写真含)

使用していたハンドガンのロックは少し触れるだけで解除される構造であり、トリガーに指をかけた状態でガンを持つことは非常に危険である。また、使用に際しては特に資格は無く誰でも使用することが出来る。



現場が山間部だったため被災者はドクターヘリで設備の整った病院へ搬送。手術後2週間程度入院しその後、3ケ月の通院治療を要した。（休業21日）

番号	災害発生要因	人的要因	物的要因	管理的要因	同種工事の再発防止対策	コメント(追記・確認すべき事項)
1	ハツリガラの除去について特に定めていなかったこと			◎	1．ハツリガラの除去について具体的方法を作業手順書に追記し関係者に周知徹底した。（ハツリ以外の作業はガンを安全な場所に置く。原則、除去作業は別の人間が行うなど）	とても危険な道具であるにも拘らず、法的な規制も無く、いろいろな構造のものが出回っている。本来、再発防止対策で重要なのは安全装置の強化であり、誰が使用しても安全な道具にすることが重要と思われる。
2	慣れた作業だったため危険意識が薄れていたこと	○			2．KY活動時に危険な作業であることを確認する。	
3	狭い囲いの中で単純作業を連続で行っていたため疲れていたこと	○		○	3．連続作業の時間を定め、交代で作業を行う。	

調査記入時の注意点ーー①　所属欄は5項目の該当する項目に○マークの記入　　②3要因(人的･物的･管理的)に関係･該当する要因に○ー重要要因と思われる事項に◎を記入してください。（添付要因資料参照）